

学校法人 コミュニケーションアート OCA大阪デザイン&ITテクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和3年7月4日実施】

令和2年度自己点検自己評価(令和2年4月1日～令和3年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	3	<p>学校法人コミュニケーションアート OCA大阪デザイン&amp;ITテクノロジー専門学校は、学校法人滋慶学園グループに属し、「職業人教育を通して社会に貢献していく」ことをミッション(使命)としている。</p> <p>「3つの教育理念」(「実学教育」「人間教育」「国際教育」)を実践し「4つの信頼」(①業界の信頼 ②高校の先生の信頼 ③学生と保護者の信頼 ④地域の信頼)を得られるように学校運営をしている。</p> <p>教育理念に基づき、OCA大阪デザイン&amp;ITテクノロジー専門学校は、『人に喜びや感動を与えられる「即戦力」となるクリエイティブ・IT業界の人材育成』を目的として学校運営をしている。</p> <p>現在、クリエイティブ・IT業界を取り巻く社会環境は大きく変化している。職業の現場で求められる知識・技術の高度化や、より付加価値の高い人材の必要性を背景に、本校では、将来的にも、3年制課程と『産学連携教育システム』により、様々な変化にも対応できる人材の育成を実現していく。</p>	<p>「学校法人滋慶学園グループ」昭和51年の創立以来、「職業人教育を通して社会に貢献すること」をミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、建学時から変わらない「3つの教育理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育実現を目指す。医療・福祉・美容・調理・製菓・パイオ・スポーツ・IT・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス等、多岐にわたる分野で北海道から福岡、NYまで82校を有する。</p> <p>「実学教育」 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識技術を実践的に教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築された『滋慶学園グループ独自の教育システム』。</p> <p>「人間教育」 開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え・気構え・心構えを養成する。</p> <p>「国際教育」 コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う</p>	3	<p>滋慶学園グループ全体での教育理念、目的、人材育成は、素晴らしいと感じています。いつもながら、素晴らしい教育理念の元、リソースを配分されていると思います。ビジョンとミッションが明確に掲げられており、学校・学科運営の軸となっている。企業サイドとは異なる観点もござりますが、御校の「4つの信頼」を得るための努力や理念には、大変共感させて頂きました。教育機関、企業を問わず、言わば社会的な問題点さえ無ければ、その組織における理念は様々かと思えます。理念こそが、その組織における文化の根幹となり、まさに「4つの信頼」を相互的に繋ぐ大切な部分だと感じました。今期の委員会では、大変恐縮ながら企業サイドの代表として参席させて頂きましたが、少なくとも私の経歴上におきましては、業界内に対して御校は大変強固な信頼を獲得されているように感じております。理念・目的・育人人材像は明確になっており、実際の学校運営全体に徹底されている。特に挨拶や時間・約束を守るなど、人間教育が教職員と学生すべてに行きわたっており、非常に優れた校風を醸成している。高い理念のもと、トレンドの移り変わりのスピードも年々上がっていくクリエイティブ業界において、個性・特色の強い即戦力の人材を長きにわたり輩出している。「人間教育」については生徒に教育指導する学校側・教育者側全てが『自らが行動して示している』と感じられ、学んでいる生徒たちが今現在「自分が社会人としての準備段階である」という意識が生徒一人一人に感じられる。</p>
	1-2 学校の特徴は何か					
	1-3 学校の将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	3	<p>諸環境の変化に対応できるように、運営方針を事業計画にまとめている。滋慶学園グループとしては、毎年、長期・中期・短期展望をし、事業計画を作成している。それを受けて、滋慶学園COMグループが短期事業計画を作成するが、そのもとになるのが、滋慶学園COMグループに属する各学校が作成する短期事業計画であり、毎年作成しているこの事業計画書が各学校における運営の核となるものである。事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決議を受け、承認を得ることになっている。それを受け、各学校では毎年数回、勉強会として、事業計画に基づく、学園および学校の方針について、全教職員へ周知徹底するための研修を行っている。</p> <p>事業計画においては、グループ全体と本校の方針や方向性、組織、各部署における目標や取り組み、職務分掌、各種会議及び研修等々についてが明確に示されている。運営組織は、事業計画の核をなす組織目的、運営方針、実行方針と実行計画に基づいたものである。単年度の運営も、中期計画の視点にたって行われる。事業計画書の組織図には学校に係わる人材が明記され、誰もが全員の組織上の位置づけを理解できるようになっている。</p> <p>学校が重要視していることとして、滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って、採用と人材育成を行い、様々な研修において目標達成に向け、スタッフのスキル面とマインド面の向上を図り、また関わるすべての人が学校の方針の実現に向けて同じ方向を向くために、各種研修や会議、ミーティングにより、コミュニケーションの重要性を確認している。</p> <p>また、滋慶学園グループ共通システムである専門学校基幹業務システム(ASシステム)により管理・運営している。学生情報や総務管理、財務情報などの管理を行っている。</p>	<p>各学校における事業計画書は、広報・教務・就職と、学校におけるすべての部署について考えられ、また、すべての部署が同じ方針・考え方を理解し、徹底している。</p> <p>学校全体の運営、あるいは各部署の運営が正しく行われるために、様々な研修や会議が設けられ、この研修、会議を通じて、個人個人の目標設定及び業務への落とし込みを行い、また常に方向性、位置づけ等を確認できるシステムを構築している</p>	3	<p>コロナ禍での対策には、万全にあたられています。校舎に足を踏み入れた時から基本的感染防止策をとっておられるのに感心致しました。これからもワクチン接種は進みますが、どうなっていくか未知数なので、予断を許さない状況です。どんなときにも変化に対応できるようにする必要があります。極めて健全に運営されています。コロナ禍での対応は迅速で的確、保護者や周辺の方々も安心・安全を感じられていたと思います。こちらの項目につきましては、総合的な観点から、私が特に申し伝える立場にございません。少なくとも組織体制や校内での役割におかれましては、丁寧且つ慎重に運営されているように窺わせて頂いております。又、企業側にも常に寄り添ったご対応を頂いているように感じ受けております。学校運営については、外部講師を数多く採用しているにもかかわらず、学校全体の運営や事業に対して滞りや漏れがなく、また昨今の新型コロナ感染症対策も万全であり、学生や父兄からも信頼を得ていることが伺える。高いポリシーの実現を目標としながら時代、社会、業界に対し柔軟な運営と方針が取られており、各部ごと個別方針から、学校全体としてレベリングとその周知徹底に工夫がなされている。</p>
	2-5 事業計画は定められているか					
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか					
	2-7 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか					
	2-8 意思決定システムは確立されているか					
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか						

<p>3 教育活動</p>	<p>3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか</p> <p>3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか</p> <p>3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか</p> <p>3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか</p> <p>3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか</p> <p>3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>3-18 資格取得の指導体制はあるか</p>	<p>3</p>	<p>職業教育は常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えており、業界の動向を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。</p> <p>本校は教育システムとして、独自の「産学連携教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界と乖離することなく、業界で即戦力となりうる人材を育成、輩出できている。</p> <p>教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで、体系的に編成されているが、教育部会等で研究、見直し等を行っている。カリキュラムは学科(専攻)に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。</p> <p>授業改善、教職員・講師の資質向上等を目的とし、教育到達レベルの明確化や授業評価、講師会など各種研修・勉強会を実施しているが、これを通して講師や学生の状況を正確に把握し、総合的な判断ができる要因となっている。また、必要な教員を確保できるよう、総合的に努めている。</p> <p>成績評価・単位認定の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できる体制を作っている。資格取得については、色彩試験検定やIT系の資格対策授業など、業務を行う上で必要な資格、就職に有利な資格という範囲で取得に向け、支援を行っている。</p>	<p>本校は、1988年の開校以来、教職員の目標として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門就職希望者全員就職</li> <li>2. 退学率 0% (入学者は全員卒業してもらう)</li> </ol> <p>を掲げ、その達成のために構築した2つの重要なシステムを構築している。</p> <p>第1のシステムは入学前の自己発見→自己変革→自己確立という、自己3段階教育と、動機づけ・目的意識づけプログラムである。入学前からの一貫した育成システムと目的意識をもって取り組むプログラムの組み合わせにより、モチベーション向上を果たしている。</p> <p>第2のシステムは、即戦力としての実践的技術・知識、ビジネスマインド等を身につけるための教育システム—「産学連携教育システム」である。これには、次の6 つが挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①企業プロジェクト ②現役クリエイター・エンジニア講師陣 ③業界研修</li> <li>④海外美学研修(コロナ禍)においては、海外プログラムなどを実施) ⑤特別ゼミ ⑥ダブルメジャーカリキュラム ⑦キャリアセンター・デビュー事務局 である。</li> </ol> <p>また本校は教育システムのさらなる開発のため、滋慶COMグループのクリエイティブ系全校から構成する「クリエイティブ教育部会」を運営し、システムの共有化、レベル向上化を図っている。</p> <p>主な部会内容は、①教育指導法 ②カリキュラム検討 ③生涯教育プログラム ④全国企業プロジェクト ⑤国際教育システム開発 ⑥イベント・卒業・進級制作展の運営 等である。</p>	<p>3</p>	<p>キャリア教育に視点を置いていますのは本校も同様です。学生が社会に旅立った時、どれだけ社会に適応し、社会から求められる人材となるかが重要です。自尊感情を持ち、社会で活躍する人となってほしいと思います。社会の要請と学生の志望を鋭く察し、丁寧な教育がなされている。設備も含め、時代に合った内容を取捨し、また適切な振り返りを行われている。本来であれば、「退学率0%」は大変理想的な目標かと思われませんが、如何せん目指すべく世界が特殊な技術職となりますので、どうしても「合う合わない」が出てくるかとも思います。あらゆる教育が、人生の選択肢を増やすためにあると考えますと、学生が自ら選択したドロップアウトの場合は、致し方ない結果のように思えます。専門的な学びとは何か？専門職とは何か？を、企業も含めいつの時代も問われる世界だと感じています。特徴的な産学連携教育システムは、同校が目ざす職業人教育に対しても実効性の高いシステムとして機能していると思われる。トレンドも含め変化の激しく、正解のないクリエイティブ業界の求めるリクエストに適時的確で個性の高い人材を輩出できる教育カリキュラム体系と評価制度がシステムマッチで明瞭に構築/運営されている。産学連携教育を念頭にカリキュラムを組まれている為、生徒自身も「将来どんな仕事に就きたいか」また「どんな自分になりたいか」という目標ビジョンが想像しやすく常になりたい自分とリンクしながら就職への過程を大切にできていると感じます。</p>
<p>4 教育成果</p>	<p>4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか</p> <p>4-20 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>4-21 退学率の低減が図られているか</p> <p>4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p>	<p>3</p>	<p>教育成果は目標達成の努力の結果であるが、本校では、専門就職 希望者全員就職、退学者0名 を教育成果の最終目標に学校運営を行っている。</p> <p>就職では、開校以来、就職希望者全員就職を達成しているが、専門就職率の向上も課題として取り組んでいる。</p> <p>退学率では、開校以来、様々な取り組みの努力を重ねた結果、2020年度は3.8%(全体退学率)となり、今後も学生個々の徹底したフォロー、カリキュラムの工夫、担任・副担任制度の強化、学生カウンセリングの強化等々を実施し、退学率0%達成に向け、努力を継続していく。</p> <p>在校生と卒業生のデビュー実績やコンテストへの入賞、商品化や参加作品などについては、担任との面談をはじめ、同窓会の開催や卒業生のネットワークを活用して把握に努めている。</p>	<p>教育成果の1つである就職は、年々、専門就職率が向上しているが、100%を達成すべく、努力を続けている。</p> <p>また、できるだけ多くの学生に夢をかなえて就職するよう、就職対象者率の向上も大きな課題である。</p> <p>学生が目標を達成できるように、保護者と三位一体となり、支援する体制作りを実施している。</p> <p>退学率では、転科・転専攻等の個別カウンセリングの強化し現状以上に体制を整え、1人でも退学者を出さない学校になるべく、努力している。</p> <p>今後は、最終目標である0%に向け、さらなる努力を重ねたい。</p>	<p>3</p>	<p>退学率3.8%。全国平均7%という中でのこの数字はすばらしい。顧客満足度はすごいです。在学中から卒業後まで、きめ細かな指導がなされている。退学率が低く、生徒・保護者が満足されているからだと思います。理念・ミッションが浸透していることも大きな要因だと思います。上記項目と同様に、大変難しい課題となる「成果」だと思いますが、三位一体と併せて、企業も共に歩ませて頂きたい存じます。半面、専門学校や専門職である以上、専門就職率を100%にすることや、退職率をゼロにすることは不可能に近いことかとも感じております。プロスポーツ選手のように、全員1軍として輝けるわけではありませんし、1軍に入れば安泰という世界でもありません。そのような専門的特殊能力を武器に、自他ともに闘い、その中で対価を得て人生を豊かにしていく世界であることを、学生と保護者と学校と企業が丸となり、真剣に向き合うことこそが、不可能な数字を可能にする入り口のように思えます。又、御校をご卒業された方々のご活躍につきましても、積極的に情報の共有に携わらせて頂ければと考えております。退学率も他行平均より相当低い数値で推移している。このことから、学校の教育方針やカリキュラム、一人一人の学生に対する支援体制が最適化されて機能していると思料される。評価のモノサシが大変明瞭に図られ示されることで目標設定や、意欲の向上に大変寄与している。実際に転科してきた生徒の様子を聞くことがあり、双方が退学というレッテルを負うことなく、新しい将来への希望に繋がるのは現在の世の中では非常に有り難いことだと感じています。</p>

<p>5 学生支援</p>	<p>5-23 就職に関する体制は整備されているか</p> <p>5-24 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>5-29 保護者と適切に連携しているか</p> <p>5-30 卒業生への支援体制はあるか</p>	<p>3</p>	<p>本校では、学生が目標を達成できるように、物心両面の環境を整備していくことで支援に繋がると考える。</p> <p>しかし、支援はあくまでも支援である。例えば、健康の維持は学業目標達成には欠かせない事項であり、本校でも健康診断にとどまらず、多くの支援体制を築き上げているが、学生本人が健康管理についての自覚を持たない場合、支援は効果がない。それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。またキャリア教育・生涯教育の観点から卒業後の支援についても、継続している。</p> <p>学生支援には、①就職 ②学費 ③学生生活 ④健康 などの分野で行っているが、それぞれの分野で対応できる担当部署及び担当者を置いている。</p> <p>①就職については、専門部署であるキャリアセンターを設置し、担任との強い連携をとりながら、就職の相談、料旋、面接他各種指導などの支援をしている。また、保護者会を開催するなど、随時、保護者とも連携し、必要な支援を実行している。</p> <p>②学費については、相談窓口として事務局会計課を置き、提供できる学費面でのサービスをアドバイザーにより支援している。</p> <p>③学生生活については、担任及び副担任制により行うが、それ以外にもSSC(チューテント・サービス・センター)という悩みや相談を受ける専門部署を置き、支援している。</p> <p>④健康については、滋慶学園グループのクリニックである慶生会クリニック大阪が担当し、在学中の健康管理を支援している。</p> <p>また、学生の課外活動であるサークル・同好会について、学校が年間予算を計上し、担当者を配置して、支援し、学生満足度アップに貢献している。</p> <p>学生寮も学園の専用の寮を整備しており、寮長と担任とが連携して学生を支援している。</p>	<p>滋慶学園グループでは、「ひとり一人を大切に」というコンセプトがあるが、本校でもこのコンセプト通り、学生を第一と考え、様々な支援体制を整備している。</p> <p>その中でも、「就職」は学生が目標を達成し、業界で活躍するための最重要事項であり、本校では非常に力を入れており、キャリアセンターという専門部署を置き、専任のスタッフを配置している。</p> <p>キャリアセンターは、業界現場での実践研修である「業界研修」の指導から、個別相談、就職対策講座、就職支援イベント開催、就職料旋等々、就職に関するあらゆる支援を行っている。デビューを希望するには、デビューセンターのスタッフが作品添削会やデビューのチャンスを提供している。卒業後もデビューバンクに登録し、卒業生のサポートも継続している。</p> <p>また、求人情報等を学生が自宅のパソコンでも閲覧できる就職支援システム「サクセスナビ」、一斉メールなどシステムの構築をし、迅速な対応ができるように支援している。</p> <p>このような支援体制の結果、就職希望者は全員就職を達成している。「就職」と並ぶ重要項目である、「教育」については、教育環境を整備し、成果を上げている。</p> <p>即戦力の人材を育成するための施設・設備、機材等々を完備し、また業界ニーズとブレのないカリキュラムの構築、業界第一線で活躍する講師陣による授業など、オンリーワンを目指す学校として十二分な体制を確立している。</p>	<p>3</p>	<p>学生1人1人と向き合い、大切にしておられる姿勢を感じました。様々な支援をされているのを聞かせて頂き、感動致しました。</p> <p>支援体制は極めて充実している。</p> <p>保護者代表の方の話をお聞きしましても、生徒が受けている印象・親が感じていること・学校から報告に大きな齟齬がなく、しっかりと連携できていると思いました。</p> <p>御校における「学生支援」につきましては、環境面、体制面ともに、十二分過ぎるほどの充実さを感じさせて頂いております。</p> <p>(今回の委員会をもちまして、より一層その部分を共有させて頂けたように思います。)</p> <p>専門学校での就学、及び学生指導や学校経営にも経験がない立場からは大変恐縮ではございますが、これだけの時間やお金が費やされた贅沢な環境の中で、それらをどこまで活用できるかは、まさに学生次第でございます。</p> <p>時間もお金も有限の資源です。</p> <p>体制が満たされているかどうか？という観点も大切ですが、それらの莫大な時間とお金が、どのような思いで、誰のために費やされてきたのかを、学生も受け止めて貰いたいと思います。</p> <p>本来であれば、保護者や学校からのお言葉が、何よりも学生の心に響くご指導となりますが、最近では第3者の支援が必要な場面もあるように感じております。(企業が社員に対して、カウンセラーを設けるような感覚でしょうか…)</p> <p>就職希望者に対する就職率100%は、学生の質もさることながら、同校に対する企業などの評価が高く、信頼されていることも強く影響しているものと思われる。</p> <p>一人ひとり個別ごとの柔軟で臨機応変な対応が丁寧にできる体系が取られている。また、情報共有や意欲向上などへの工夫がある。</p> <p>学校での生徒一人一人に対するメンタル面でのサポートも充実していると感じています。また保護者・家庭においても学校に任せきりにすることなく、お互いが連携して「子の成長」を責任もって見守るべきだと感じました。また生徒同士がお互いの様子やメンタル面でのサポートが必要な場合にも身近にいる教育者に相談できるよう日常的な会話も積極的に取られているように感じています。決して一人ではないと感じることが、今後の人生を決める大きな決断を迫られた際に大いに役立つと思います。</p>
<p>6 教育環境</p>	<p>6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>6-33 防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>3</p>	<p>本校は、業界で即戦力となり得る人材育成を目的としており、そのための教育環境(施設・設備、機材等)の整備は重要であるが、完備されていると考える。25年度9月には新校舎へ移転し、さらに教育環境の充実が図られた。</p> <p>学内の教育環境に留まらず、学外の環境(インターンシップ・業界研修、学外実習、海外実学研修)も十二分に整備することが必要であるが、キャリアセンター、教務部、国際部が一丸となって、その整備を行い、教育効果につなげている。</p> <p>防災訓練・避難訓練も計画的に実施しており、安全対策を日ごろから啓蒙している。</p>	<p>オンリーワンを目指す本校にとって、教育環境である施設・設備・機材等は非常に重要な要素であり、業界において最新・最良のものを整備している。</p> <p>新型コロナ対策としての感染予防設備も積極的に導入。4月には、すべてのPC教室に飛沫防止フィルムを設置、エントランスにはサーモグラフィーによる検温装置も導入。夜間にはオンソソ生成による教室除菌装置も導入し、安心・安全に授業を受けることができる環境を整備した。</p> <p>海外研修についてはコロナ禍により実施は見送り、海外クリエイターによるゼミや海外企業との企業プロジェクトなど、グローバルな視点を育成できるカリキュラムをその代替として実施した。</p> <p>毎年、事業計画で計画し、予算計上の上、計画通りに購入・更新等を行っているが、これ以外の学外教育環境も教務部、キャリアセンター、国際部が一丸となって整備しており、これは本校の大きな強みと考えている</p>	<p>3</p>	<p>教育環境の充実、重要な要素です。業界において、常に最新、最良のものを設備されておられるのは、すごいです。</p> <p>学生の健康と、教育の充実のために、適正な投資がなされている。</p> <p>設備への投資もしっかりされているため学生が学ぶための環境は充実していると思います。またコロナ禍での対応も素晴らしいと思います。</p> <p>御校の教育環境におかれましては、施設、設備等、十二分という言葉では納まらないほどの恵まれた環境かと思われまます。</p> <p>学ぶ場が、決して最新・最良であるべきとは思いませんが、可能性を広げるという意味では制作系ソフトは企業サイド寄りに、PCスペックはご家庭でも学習されることを配慮しつつ、御校での環境も中間スペックで充分かと思われまます。</p> <p>場所の利便さはもちろん、個性的な外観と清潔な校内環境は、日々の学校生活を送るために大変心地よいものとなっている。</p> <p>即戦力人材輩出を実現のため、プロフェッショナルと同じ環境での習熟環境が整えられている。また、優秀な卒業生が多いことも寄与してか第一線でインターンシップなどチャンスの機会も多い。</p> <p>設備については整っていると感じられます。コロナ対策として消毒が徹底的に行われているため、その状況を常に見ている生徒自身も自らも行動に注意する意識が保たれていると感じられます。</p>

7 学生 の 募 集 と 受 け 入 れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	3	<p>本校は、大阪府専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(AO 入学等)を遵守している。</p> <p>また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学校募集ができるように配慮している。</p> <p>さらに、広告倫理委員会を設置し、広報活動の適切さをチェックしている。</p> <p>広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して、学校告知を実施し、教育内容を正しく知ってもらうように努めている。</p> <p>これらすべての広報活動等において収集した個人情報・出願・新入生の個人情報等本校に関わるもの個人情報、校内に個人情報保護委員会を設置し、厳重に管理し、流出及び他目的に使用しないように、管理の徹底を図っている。</p> <p>入学選考に関しては、出願受付及び選考日を学生募集要項に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は、「入学選考会議」により、可否を決定する。</p> <p>なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接選考」及び「書類選考」であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。</p> <p>将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりとっているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと、学科試験を行うものではない。</p> <p>学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費及び諸経費の無駄な支出をチェックしている。</p> <p>保護者への授業料及び諸経費の提示についても、入学前の段階において、年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p>	<p>学生募集については、募集開始時期、募集内容等々ルールを遵守し、また、過大な広告を一切排除し、厳正な学生募集に配慮している。</p> <p>広報活動では「学校の特色を理解してもらう」ことを強化している。</p> <p>本校は専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージがどれだけ明確になっているかが大切と考え、体験入学や説明会への複数回参加を促し、充分理解し、疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。</p> <p>教育成果として、高い専門就職実績と卒業生の活躍の打ち出しを強化しており、学生募集上の効果はかなり高いと考えるが、それゆえ、過大な広告にならないよう、学内に広告倫理委員会を設置し、事務局長、広報スタッフ等が常にチェックしている。</p> <p>本校は、一般社団法人日本プライバシー認証機構「TRUSTe」の国際規程の認証を受けている。</p>	3	<p>生徒入学生が何人かによって収入が決まります(補助金も生徒1人当り、約32万円)。本校の募集活動は、生徒、保護者が何を求めているかをリサーチして、ニーズに合う方法を常に考えます。又、昨年は、中学、塾訪問が、従来のように行けなかったのが人数減った原因の一つと考えます。</p> <p>少子高齢化のなかでも、高い人気を誇っている。</p> <p>時代に合わせたアプローチを様々に取り入れられており、また先取りしたカリキュラムの設定などにも努力を感じます。</p> <p>左記E列のコメントには、大変共感させて頂きました。</p> <p>特に『本校は専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージがどれだけ明確になっているかが大切と考え～』の部分は、企業サイドと致しましても非常に重要な考察ポイントとして受け止めております。</p> <p>企業側の面接でも、応募者に対し、就きたい職制や作業の質問を投げかけました際に、「特にありません」という答えが返ってくる場合が極稀でございます。(御校の生徒様という意味ではなく一般的に。)</p> <p>幾つかの線路が引かれていて、どれかに乗ったら大丈夫という世界でもありませんし、自分で選んだ道を突き進んでいけないといけない世界であることは、入学前と就職前にご自身が向き合うべき岐路だと考えます。</p> <p>学生の募集については、プロモーション手法や募集概要なども若々しい品性を感じるものであり、同校の特徴となっている。</p> <p>将来を漠然とイメージしている検討中の学生に対し、具体的でありながらも意欲につながる募集と情報提示ができています。この最初期での具体例や意欲の共有と創出は、確実に即戦力人材の育成に寄与している。</p> <p>入学案内や体験時には学内の見学はもちろん、丁寧かつ簡潔に特徴や入学後の利点等を提示、個別に相談した際の親身な対応で入学を決めました。将来を定めることが未だ難しい高校生や学生さん達に対して、様々な職種や可能性を提案し実績を見せることで保護者にとっても、また自ら親に相談する際にも「一つの道に限らず多方面での活躍を期待できるカリキュラムであること」を提示してもらえると入学を決めやすいと感じます。</p>
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか					
	7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか					
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか					
8 財 務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<p>財務は、学校運営に関して、重要な要素の1つである。</p> <p>その中で予算(収支計画)は学校運営に不可欠なものであって、その予算を正確かつ実現可能なものとして作成する必要がある。</p> <p>毎年、次年度事業計画を作成し、その事業計画の中に5ヶ年の収支予算を立てているが、次年度の収支予算はもちろんのこと、中長期的に予算を立てることによって、学校の財務基盤を安定させるための計画を事前に組んでおくのが目的である。</p> <p>5ヶ年の予算は、5ヶ年を見越した中長期的事業計画内で、新学科構想、設備支出等について計画し、将来の学生数、広報・就職計画を鑑みながら予測し、収支計画を作成するが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実に対応した予算編成となっており、健全な学校運営ができていると考えている。</p> <p>会計監査は、法人及び学校の利害関係者に対して、法人等の正確かつ信頼できる情報を提供するために、第三者による監査人が法人とは独立した計算書類が適切かどうかを監査することを意味する。</p> <p>平成17年4月から私立学校法が改正され、学校法人の財務情報公開が義務づけられたが、これに迅速に取り組み、「財務情報公開規程」及び情報公開マニュアルを作成し、財務情報を公開している。</p>	3	<p>予算を正確かつ実現可能なものにするための2つの要素がある。</p> <p>①正確かつ実現可能な予算の作成          予算は短期的、中長期的の2種類がある。短期的は次期1年間のもので、中長期的は2～5年間のものである。          当学校法人及び学校では、短期的と中長期的の両方を事業計画書として作成し、短期的視野と中長期的視野の2つの観点から予算編成している。          短期的な予算編成は当年度の実績を基礎に次年度に予定している業務計画を加味して行われる。          中長期的な予算編成は主として大規模な計画を視野に入れた上で、業界の情勢を読み取りながら行われる。          正確かつ実現可能な予算作成のためには、一旦作成した予算が現実のものとならなければそれを修正する必要がある。そのために短期的な予算においては期中に「修正予算」を組み、中長期的な予算においては毎年編成しなおすことにしている。          これにより、短期的にも中長期的にも正確かつ実現可能な予算編成を組むことができる。</p> <p>②①のための体制作り          ①のように実現可能な予算作成するためには、その体制作りが必要になる。          事業計画・予算は学校責任者が協議して作成し、滋慶学園本部がチェックし、修正して最終的に理事会・評議員会が承認する体制を整えている。</p> <p>さらに、予算に基づいて学校運営がなされているかどうかは四半期ごとに予算実績対比を出し、学校責任者が予算と実績が乖離しているようであれば修正予算を編成し、理事会・評議員会の承認を得る。作成した決算書、事業報告書については、情報公開の対象となり、利害関係者の閲覧に供している。</p>	
	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか					
	8-40 財務について会計監査が適正に行われているか					
	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか					
						<p>財政は、私学に取りましても重要な要素です。貴校を参考に、本校でもしっかり予算立てしていきたいと思えます。</p> <p>大変健全な財務体質である。</p> <p>退学率の低さ、入学希望者・入学対象者へのアプローチなど、手を抜くことなく適切な対応・アプローチを模索・実行されていると思えます。</p> <p>2番目の学校運営と同様に、こちらの項目につきましても、総合的な観点から、私が特に申し伝える立場にございません。</p> <p>様々なご苦労やご事情がおりの中、少なくとも環境面におかれましては十二分過ぎるご計画と運営状況のように窺わせて頂いております。</p> <p>学校経営については安定性や透明性が高く、学生や父兄のみならず、教職員の教育への集中をもたらししている。</p> <p>適時適切な計画と実行がなされている。</p>

9 法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	法令を遵守するという考えは、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断している。現状では、学校運営(学科運営)が適切かどうかはつぎの各調査等においてチェックできるようにしている。 ①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基礎調査 ④専修学校各種学校調査 等である。	3つ教育「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」で「職業人教育を通じて社会に貢献する」という建学の理念の実現を目指し、4つの信頼(「学生・保護者からの信頼」、「高等学校からの信頼」、「業界からの信頼」、「地域からの信頼」)を確保するためにもコンプライアンス推進をはかる。具体的には、すべての法令を遵守するとともに、社会規範を尊重し、高い倫理観に基づき、社会人としての良識に従い、行動することが私たちの重要な社会的使命と認識し、実践する。	3	学校長以下、コンプライアンス体制は万全である。先生方の個人情報やセキュリティ、法令遵守の意識の高さを感じております。昨今では、企業サイドも含め重視しなければいけない項目として捉えさせて頂いております。同校の法令遵守への取り組みは、高い倫理観を醸成しており、学生同士はもちろん教職員間まで徹底されている校内での挨拶や時間に対する意識づけにつながっていると思われる。教育機関、企業におきまして、それぞれコンプライアンスの詳細は異なりますが、いずれの場合も慎重に捉えているのは経営や運営に携わる立場の方々で、生徒様や社員達の捉え方はまだまだ軽いように感じております。組織として遵守、実践するには、共に生徒様や社員達への教育も課題として受け止めたいと思っております。コンプライアンスに対し、様々な事象や予測を考慮したチェック体制と自己改善プロセス構築に十分に配慮されている。
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		また、組織体制強化やシステム構築にも努め、次のようなものがある。 (A)組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) (B)システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④商品購入制御システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ)	方針実行のため、学内にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスを確実に実践・推進に当たらせることにした。委員長は、統括責任者としての学校の役員が就任する。委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のためのPR、啓蒙文書等の作成・配布である。		学校長以下、コンプライアンス体制は万全である。先生方の個人情報やセキュリティ、法令遵守の意識の高さを感じております。昨今では、企業サイドも含め重視しなければいけない項目として捉えさせて頂いております。同校の法令遵守への取り組みは、高い倫理観を醸成しており、学生同士はもちろん教職員間まで徹底されている校内での挨拶や時間に対する意識づけにつながっていると思われる。教育機関、企業におきまして、それぞれコンプライアンスの詳細は異なりますが、いずれの場合も慎重に捉えているのは経営や運営に携わる立場の方々で、生徒様や社員達の捉え方はまだまだ軽いように感じております。組織として遵守、実践するには、共に生徒様や社員達への教育も課題として受け止めたいと思っております。コンプライアンスに対し、様々な事象や予測を考慮したチェック体制と自己改善プロセス構築に十分に配慮されている。
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		滋慶学園グループ、COMグループと全体というスケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムにより、各校が常に健在な学校(学科)運営ができるようにしている。法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。また、自己点検・自己評価の結果についても公開をしている。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象として、コンプライアンスの実施状況についても監査を受けている。		学校長以下、コンプライアンス体制は万全である。先生方の個人情報やセキュリティ、法令遵守の意識の高さを感じております。昨今では、企業サイドも含め重視しなければいけない項目として捉えさせて頂いております。同校の法令遵守への取り組みは、高い倫理観を醸成しており、学生同士はもちろん教職員間まで徹底されている校内での挨拶や時間に対する意識づけにつながっていると思われる。教育機関、企業におきまして、それぞれコンプライアンスの詳細は異なりますが、いずれの場合も慎重に捉えているのは経営や運営に携わる立場の方々で、生徒様や社員達の捉え方はまだまだ軽いように感じております。組織として遵守、実践するには、共に生徒様や社員達への教育も課題として受け止めたいと思っております。コンプライアンスに対し、様々な事象や予測を考慮したチェック体制と自己改善プロセス構築に十分に配慮されている。
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか			今後は、コンプライアンス相談窓口の設置が必要であると考えている。		
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	本校には、滋慶学園グループの「4つの信頼」(①業界からの信頼 ②高等学校からの信頼 ③学生・保護者からの信頼 ④地域からの信頼)というコンセプトがある。  この「4つの信頼」の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている。例えば、業界企業や団体、あるいは中学校・高等学校等の教育機関とタイアップして行う、出張授業支援やクラブ活動支援、また、スタッフが高校へ向いて行う特別講義等では、「高等学校からの信頼」に繋がっている。  滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動で行っている、節電、冷房温度28度設定、階段利用(2アップ3ダウン)や、イベント等におけるゴミ削減、資源有効利用等々は、学生本人のみならず、来校された保護者の方々からも高い評価を頂戴し、「学生・保護者からの信頼」に繋がっている。  ボランティア活動についても奨励しており、学生便覧にも規定している。  特別なことをするわけではなく、滋慶学園グループが掲げる「4つの信頼」の獲得を目指すことが、すなわち社会貢献を果たすことに繋がっていると考えている。	本校では、教職員及び学生たちが、常に社会貢献を意識した活動を行っている。例えば、①大阪府・市からの企業プロジェクト ②大阪市西区の消防署用のポスター、キャラクター制作 ③業界企業とタイアップして行う全国企業プロジェクト ④中学校の職業理解支援等々、年間を通じ、教職員や各専攻の学生たちが、それぞれ特徴を活かし、幅広く、かつ意義のある活動を行っている。  その活動が、「業界からの信頼」、「地域からの信頼」、「高等学校からの信頼」、「学生・保護者からの信頼」という、滋慶学園グループの「4つの信頼」獲得に繋がっており、その結果が社会貢献を果たすことに繋がっている。  今後は、学校の施設や教育ノウハウ等を更に活かし、多様な社会貢献へ発展させていく考えである。	3	地域社会やSDGsなど、学校が社会に貢献できる幅を増やそうと努力している。企業プロジェクトやタイアップなどは、企業や一般の方の目を意識できるカリキュラムは生徒にとつて、より深く実践的に学び、評価を受けられる場として非常に有用だと思います。大変失礼ながら、このような取り組みを行われていることも、委員会へ参席させて頂くまでは存じ上げませんでした。(※企業プロジェクトにつきましては存じ上げております。)
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか			正しい「教育」そのものが、既に社会貢献へ繋がっているようにも思われますが、プラスアルファの貢献として素晴らしい取り組みだと感じました。是非ともこれからも、生徒様や保護者様により一層その意義を感じて頂きながら、ご継続頂けたらと思います。地域とのつながりを大切に、学生と社会との接点を多く持つカリキュラム運営など、地域における存在意義や貢献度は高い。様々な環境への対応や社会貢献の機会でも地域も含めた信頼を意識した活動は個性だけでなく、人間性も高い人材育成につながっている。社会貢献を意識して活動に携われることで、人との出会い・つながりにコミュニケーションが活用され、苦手であっても、小さな成功を繰り返すことで最終的には大きな達成感を得られ、社会に順応していけると感じられます。また自己肯定感を高め、家庭内での信頼感・学校との信頼も深まり相互に発展していけると確信しています。		